

新しく生まれ変わった 『アレグリア』 とは

-新たな光-

新たな
ポイント

より力強く進化を遂げた
アクロバット！

新たにデザインされた
衣装とセットの採用！

シルク・ドゥ・ソレイユにとって、そして、世界中のファンにとって特別な存在として記憶に刻み込まれている「アレグリア」がエンターテインメント再生の象徴となるべく、光を纏い日本に上陸します。シルク・ドゥ・ソレイユはその伝説的なショーを根本から見直し、新旧のファンを感動させる新しい「アレグリア-新たな光-」を作り上げました。日本では、1996年「アレグリア」、2004年「アレグリア2」を上演。「アレグリア」は、パンデミックによって公演中止を余儀なくされた後、シルク・ドゥ・ソレイユにとって、海外テント公演復活の第一歩であり、前回作品「キュリオス」から5年ぶりの日本公演最新作となります。

｜STORY｜王を失くし、かつての輝きを失った王国。保守的な古い秩序と変化・希望を求める若い世代との間で勢力争いに揺れ動いている。かつて王に仕えていた道化師が不器用ながらも王位を継承したかのように振舞う。力のバランスを変えようと若者たちが街の中から立ち上がり、やがて彼らの国に光と調和をもたらす。



オープニング



アクロ・ボール

サーカスの技法であるロシアンバーとバンキンを組み合わせた世界初のパフォーマンスで、貴族たちは、棒高跳びで使うボールの上でバランスを取りながら跳ね、フライヤーをポーターの頭上高く舞い上げ、魅惑のエリアルバレーを繰り広げる。



ジャーマン・ホイール

ブロンクスは、筋力と敏捷性を駆使し、巨大な車輪を回転させながらステージを横切る。自分の体重と意志だけで動きを作り出し、人間ジャイロスコプとなって、ジャーマン・ホイールの内部やその周囲で流麗なアクロバットを披露する。



シンクロナイズド・トラピス・デュオ

横一列に並んだ2人のエンジェルが空中ブランコに乗り、息の合ったスピニングや跳躍を披露する。斬新な垂直方向の動きや、空中ブランコの高さや揺れの軸を変化させながら演技を行う。



ファイヤーナイフ・ダンス

ブロンクスの手から揺めく炎が点火される。1つの光が3つになり、10になり、情熱とエネルギーが広がって、魅力的な希望の光を再現。ファイヤージャグリングアーティストが操る炎のナイフが体の延長となり、炎を口に含んだり、吹き出したり、恐れずに炎に触れる姿をみることができる。



クラウン・スノーストーム

クラウンは、孤独、失恋、絶望の物語を詩とフィジカルコメディで表現する。雪吹雪の物凄風によって、王国を根底から揺さぶり、再生のための礎を作ります。



エアリアル・ストラップ

アレグリアのテーマ曲にのせて、繊細な雪の中を荘厳なカップルが舞い上がる。ブロンクスとエンジェルの2人のエアリアルストは、舞台の上空で、時に離れ、時に抱き合い、時に互いの手を握り合う。



フラフープ

ブロンクスは、手足や体全体を使い、コントーションの技を披露しながら、脚や腕だけでなく、全身を使って、たくさんのフープを回転させながら操る。



パワートラック

深い音とともにステージが開き、トランポリンが2つ交差したパワートラックが姿を現す。14人のブロンクスが空中高く舞う演技とダイナミックな体操技にタンプリングを加えて、その腕前と芸術性を披露する。



ハンド・トゥ・ハンド

ニフは、強さとコントロールを見せることによって、手と手を使った卓越したパフォーマンスを披露する。フライヤーは相手の手、肩、そして足の上でバランスをとりながら、空中に放り出され、驚くべき正確さでキャッチされる。



フライング・トラピス

ステージ上10mの高さにセットされた4つのブランコは、怖いもの知らずのフライヤーにとっての空中の遊び場となり、膝だけ固定された力強いキャッチャーの腕の力だけで、驚くようなジャンプを披露する。



ハンドバランシング&コントーション
(ローテーション演目)

優雅さ、強さ、柔軟性を兼ね備えたエンジェルが、巧みに配置された杖の上で流れるようにバランスを取る。絶妙に均衡を保ちながら、身体を複雑な形に曲げていく。



フィナーレ



※都合により公演の内容を一部変更場合がございます。